

川越市教育委員会第11回定例会会議録

- 1 会議の場所 川越市教育委員会 教育委員会室
2 開 会 令和8年1月21日 午後1時30分
3 閉 会 令和8年1月21日 午後3時55分

4 教育長並びに出席した委員

新保正俊 飯島希 岡本絃子 鈴木朗 大石懐子

5 欠席委員 なし

6 教育長の職務を行った者 教育長 新保正俊

7 説明のため出席した者

(教育総務部)

- ・ 部長 佐藤喜幸
- ・ 副部長兼教育総務課長 佐藤裕子
- ・ 教育財務課長 水村将晃
- ・ 地域教育支援課長 吉野泰弘
- ・ 文化財保護課長 粕谷勝
- ・ 参事兼中央公民館長 小熊政彦
- ・ 参事兼中央図書館長 羽生田奈々絵
- ・ 参事兼博物館長 中里良明

(学校教育部)

- ・ 部長 西貝俊哉
- ・ 副部長兼教育指導課長 早川美彦
- ・ 参事兼学校管理課長 馬場雅史
- ・ 学校給食課長 宮沢茂
- ・ 参事兼教育センター所長 大澤崇
- ・ 参事兼市立川越高等学校事務長 松本秀規
- ・ 学校管理課参事 新井偉雄

(文化スポーツ部)

- ・ 部長 奥富 和也
- ・ スポーツ振興課 鍛治良知

8 前回会議録の承認

令和7年度第10回定例会会議録を承認した。

9 議題及び議事の概要

- 議案第42号 令和8年度教育行政方針と主要な施策について

【非公開】

10 報告事項

(1) 川越市立名細小学校エレベーター改修工事請負契約について

(教育財務課長)

【資料をもとに説明】

(委員)

今回の入札額は最低制限価格を下回っているのか。

(教育財務課長)

資料の記載において、入札額が税抜表示、最低制限価格が税込表示であるために分かりづらい部分はあるかもしれないが、今回の入札額は最低制限価格と同額である。

入札前に予定価格を公表していることや積算方法を提示していることから同額となることがある。

(2) 学校給食費の改定について

(学校給食課長)

【資料をもとに説明】

(委員)

今後も臨時交付金を活用できるのか。

(教育総務部長)

臨時交付金は国の判断で単年度ごとに交付するか否かを決定するものであり、毎年継続的に交付されるものではない。

(委員)

食材費が上がった際、臨時交付金が活用できない場合はどのような対応をとるのか。

(学校給食課長)

教育委員会としては適正価格を提示したうえで、財政当局と調整し、公費負担について判断することになる。

(3) 川越市立小中学校適正規模・適正配置審議会答申等について

(参事兼学校管理課長)

【資料をもとに説明】

(委員)

審議会委員から、「数字の面で見えていくことも必要かと思うが、もう少し子どもの視点で考えるということも非常に重要だと思う」という意見がある。

適正規模・適正配置は、児童生徒の教育条件の改善のために考えていくことが重要であると思うが、審議会委員からはどのような意見が出ているか。

(参事兼学校管理課長)

審議会の中では、子どもの数が減少した際に、学級数をまとめていくという方法だけではなく、少人数で学級を維持していく方法も大事だという意見がでている。また、審議会からは、適正規模・適正配置を進めるうえで、学校教育の質の向上を図ることを目的に進めるよう答申が出されている。

(委員)

パブリックコメントはどのような方法で行うのか。

(学校教育部参事)

基本方針（案）を市ホームページに公開し、市民等から広く意見を求める予定である。提出された意見は反映できるものは反映し、基本方針の策定を進めていく。

(委員)

適正規模・適正配置を進めるうえで、小学校から中学校までの9年間を一貫して行う義務教育学校とするなど、どのような方法を考えているか。

(参事兼学校管理課長)

小中一貫教育への流れを踏まえつつ、義務教育学校にシフトしていくことを検討する必要があると考えている。

(委員)

小中一貫教育の議論はしないのか。

(参事兼学校管理課長)

教育の在り方に関する小中一貫教育と、適正規模・適正配置は別で検討をしているが、今後はこれらが融合することも見据えながら双方を進める必要があると考えている。

(委員)

適正規模・適正配置は長期間の計画だと思うが、施設の老朽化も待たない状況だと思う。他市では地元の反対意見があり、計画が止まっていると聞いている。計画を進めるうえで、地元との対話が重要であると思うので丁寧に進めてもらいたい。また、地元だけではなく、今の保護者と未来の保護者にも理解を得られるよう進めてもらいたい。

(学校教育部長)

児童生徒の教育条件の改善を主眼に置きつつも、防災面、施設の老朽化や地域コミュニティなどの視点も踏まえながら、全庁的に再編計画を作成しなければならないと考えている。

また、地域の方、子ども達や保護者などへの丁寧な説明や議論を大事にしながらも、施設の老朽化などにより、スピード感をもって進めていく必要もあることから、ロードマップ等を作成し、着実に進めていきたい。

(教育長)

教育委員会としては、適正規模・適正配置を進めることで、どのように子どもの教育条件の改善につながるのか、確かなエビデンスを示しながら基本方針を策定していく必要があると考えている。

(委員)

地域住民にとって自分の地域から学校がなくなることはショックであるため、地域住民への説明の際に今後の活用方法など開けた展望を示すようにしてもらいたい。

(委員)

適正規模・適正配置の説明の際に、児童生徒数の減少の点だけではなく、国土強靱化計画やマスタープランなどの計画も踏まえながら説明してもらいたい。

1.1 協議事項

(1) 「第四次川越市スポーツ推進計画（原案）」について

(スポーツ振興課長)

【資料をもとに説明】

(委員)

運動とスポーツの言葉の定義の違いは何か。

(スポーツ振興課長)

運動とは、日常的な動作など体を動かすことを指し、今回の計画の中ではスポーツの一部であると捉えている。

(委員)

計画の概要版も公表するということでよいか。

(スポーツ振興課長)

そのとおりである。

(委員)

計画策定までのプロセスと教育委員会の意見は計画にどのように生かされるのか。

(スポーツ振興課長)

計画策定までのプロセスは、庁内関係課会議を経て、スポーツ推進審議会で審議され、計画案を策定した。その後、パブリックコメントにより市民から広く意見を求め、その意見を再度審議会で審議し計画を策定する。教育委員会からの意見については、パブリックコメントでの意見と併せて審議会で審議し、生かしていくこととなる。

(委員)

パブリックコメントでは、特定の事項について意見を求めるもの

か。

(スポーツ振興課長)

特定の事項ではなく、広く自由な意見を求めるものである。

(委員)

数値目標はどのように設定しているか。

(スポーツ振興課長)

国等で示している数値を参考に、5年間の中で達成したい数値を設定している。

(委員)

成人の年1回以上のスポーツ実施率の目標値が70パーセントとあるが、低いのではないか。

(スポーツ振興課長)

市民意識調査の結果では、運動をしていない市民の割合がおよそ半数程度であったため、今回の目標値としている。

(委員)

運動をしていない市民が半数いることについての課題をどのように捉えているか。

(スポーツ振興課長)

スポーツをしない人にスポーツを好きになってもらうことが課題であると捉えている。そのために、「やるスポーツ」だけでなく「見るスポーツ」についての取組も今回の計画の中で定めている。

(委員)

国の計画では、スポーツ界におけるDXの推進に触れているが、川越市での取扱いはどのようなものか。

(スポーツ振興課長)

DXに特化した施策はないが、SNSなどによる周知や募集等を積極的に取り入れていきたい。

(委員)

今回の計画について川越らしさはどういったことか。

(文化スポーツ部長)

現計画では、基本目標にスポーツ施設の充実が位置付けられていなかったため、スポーツを楽しんでもらうためにもその点について新計画では位置付けた。

また、部活動の地域展開を推し進めていくために、基本計画の説明文にも表記したことである。

(委員)

川越の歴史的な町並みを生かしながらスポーツが推進できるような取組についても検討してもらいたい。

(委員)

子ども達は、部活動やクラブチームで一度挫折すると次のステップに進めない実態がある。子ども達が、次のステップに気軽に歩めるよう、また複数のスポーツに親しめるような環境を整えることも念頭に置き計画の策定をしてもらいたい。

(スポーツ振興課長)

マルチスポーツに取り組めるような環境を整備するために、どこでどのようなスポーツをしているかについての情報発信をしていきたい。

(委員)

スポーツ選手を支える、データサイエンティストのような人材の育成についても検討してもらいたい。

(文化スポーツ部長)

スポーツ選手を支える人材の育成についても重要だと考えているので、その点も踏まえて計画策定を進めていきたい。

(委員)

プロ・トップスポーツ選手と市民の交流があった競技とその内容を教えてほしい。

(スポーツ振興課長)

埼玉西武ライオンズ、埼玉パナソニックワイルドナイツ、東洋大学

と連携協定を結んでいる。埼玉西武ライオンズはOB選手による野球教室を行い、埼玉パナソニックワイルドナイツは川越運動公園陸上競技場にラグビーポールが設置できるようになった際のイベントに協力をいただいたところである。

また、女子サッカーチームのちふれA S エルフェン埼玉とスポーツに関する連携協定を結び、川越運動公園陸上競技場でWEリーグの公式戦を実施したところである。

(委員)

運動をしていない人の割合について、運動やスポーツの言葉の定義が曖昧な中での回答では、正しいデータではないと捉えられてしまう可能性がある。今後、スポーツという言葉で統一するなど、定義を明確にしたうえでの調査を検討してもらいたい。

運動が、健康増進にどのように良いか科学的に解明されていることや、健康増進を図ることで医療費を削減でき、その分の予算を別の事業に充てられるなど健康増進のメリットについても計画の中で触れることを検討してもらいたい。

(スポーツ振興課長)

いただいた意見については、検討していきたい。

(委員)

今回の計画が達成されるとどうなるのか、ビジョンが見えない。そのことについての記載も検討してもらいたい。

1 2 その他

- (1) 議案第42号は意思決定過程における情報にあたることから、この審議に係る会議を公開しないこととする動議が提出され、全出席委員がこの動議に賛成し、当該審議については非公開として取り扱うことに決定した。
- (2) 報告事項(3)の関係者として学校教育部参事について、協議事項(1)の関係者として文化スポーツ部長及びスポーツ振興課長の出席について、

全出席委員が承認し出席が認められた。

- (3) 会議録の署名委員として鈴木委員、大石委員が指名された。
- (4) 次回教育委員会は、令和 8 年 2 月 5 日(木)午後 2 時開会に決定した。